



# 輝け 未来へ 中番校

## No one will be left behind



### 第 37 回北播小学生駅伝カーニバル。全 7 チームが参加!!

— Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) —

先週土曜日（1月21日）、第37回北播小学生駅伝カーニバルが加西市立善望中学校周辺コースで開催されました。北播地域では朝に雪も舞ったところもありました。太陽が覗くと暖かくなりましたが雲に隠れると吹く風が一層冷たさを増しました。寒い一日となりました。中番小学校からは6年生から4年生までの子供達でチームを組み、全7チームが参加しました。5人で1チーム、1区から5区まで5人でたすきをつなぎます。一人一人が走る距離は、周回コースとなりますので、全員同じ距離、1.6kmを走ります。部門は、男女別、6年生以下チーム、5年生以下チームに分かれており、各部門2チームまで参加できます。つまり、最高8チームまで参加できることとなります。中番小学校は、全部で7チーム参加しましたので、ほぼ、めいっぱい参加したこととなります。多くの子供達の意欲、やる気の高さに感心しました。市内全ての小学校が参加していました。小野市の小学校は、この駅伝大会に昔から数多く参加してきました。保護者の皆様の中にも「私も走った！」という方がおられるのではないのでしょうか。この大会に向けて、子供達は放課後、一生懸命練習をしていました。長距離は自分との闘いです。自己ベスト更新を目指し、日々の練習を積み重ねてきました。練習では、記録更新できた、よかった、嬉しい、よし！といった思いもあったことでしょうか。しんどいな、めんどくさいな、いやだ、やめたいといった思いもあったにちがいません。全てがよいことだけということはないと思います。どちらかという大変なことの方が多かったのかもしれない。でも、その練習の積み重ねが、大会に臨むことにより、一層意味を持ってきます。大会となればやはり緊張します。出走を待つ間、

子供達は緊張を隠せないようでした。一人言が多くなる、ソワソワする、時間が気になる等、緊張の現れ方も人それぞれです。1区はスタート、緊張の塊です。2区は序盤戦、チームの流れを作ります。3区はチームの順位や位置などが見えてきます。4区は5区への最後のつなぎ、順位をより意識します。5区は最終ランナー、今よりも少しでも前へ、一層その思いは強くなります。1区は2区の為に、2区は1区の思いを受け取り3区へつなぐ、3区は1区と2区の思いを受け取り4区へつなぐ、4区は1区、2区3区の思いを受け取り5区へつなぐ、5区は全ての思いを受け取り、ひたすらゴールを目指すのです。そこに駅伝の魅力強く感じます。大会後、自己ベストを更新した子供達が多くいました。これは素晴らしいことです。大きな成果です。中には、悔しい思いをした子供もいることでしょうか、「来年こそ！」と再起を期した子供もいることでしょうか。一つの大会は終わり、それぞれの胸に新たな目標が生まれ、目指すべき方向が、光が、見えたことでしょうか。このことが何より大切であると思います。保護者の皆様には、放課後練習、日々の体調管理、当日の送迎等、大会参加に向けて、大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。子供達は、一つ大きな壁を越えたのだと思います。本大会に臨み、自己の成長を感じ、また一歩、その歩みを進められたこと、大変嬉しく思っております。今週末（1月28日）は、いよいよ本校のマラソン大会となります。新型コロナウイルス感染症、インフルエンザとの同時流行と心配は尽きることがありません。しかし、闇雲に恐れていても何も始まりません。一人一人が自分ができる最高の準備をし、最善を尽くしていくことが重要であり、必要であると思います。日々の感染症対策を徹底し、「恐れず、正しく、適切に」対応していくことが求められています。保護者の皆様の深いご理解とあたたかいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。3学期、元気で逞しい子供達の姿を期待しております。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。